

高知くらしの護身術

258

ネットオークション

入札前に疑問点確認を

(2012年9月4日掲載原稿)

ネットオークションは、オークションサイトに登録することで、商品を出品、落札できるサービスです。市販品を流通価格より安く購入できたり、普段入手できないレア物が見つかることもあります。大変便利なしくみで利用は拡大していますが、利用者間のトラブルも増えています。

「新品同様の品ということで落札し品物が届いたがどう見ても使用したことがあるような中古品だった」という相談がありました。この場合、落札者が出品者に対し連絡を取って交渉することになりますが、中古品に対する認識は個人によって異なるため、交渉は容易ではありません。トラブルをできるだけ防ぐためにも、入札前に、出品者の評価を確認したり、商品について疑問があれば質問をして予め確認してください。質問に対し回答がないような場合は入札を見送ったほうが無難です。

入札前の確認を怠ったケースとして、「商明説明の画像がないまま落札したところ思っていた商品と違うものが届いた」という相談がありました。また説明画像にカタログ写真をそのまま転用している場合はその商品が出品者の手元にあるのか確認したほうがよいでしょう。

オークション事業者は、利用者間でトラブルが生じても、取引に実質的に関与していなければ原則責任を負いません。便利な反面、「自己責任」が原則の個人間売買であり、十分な注意が必要です。

取引が終了するまでは相手とのメール等やり取りや振込の控えなどは保存しておきましょう。また個人情報やID、パスワードの管理にも十分注意しましょう。